

【専攻科授業科目概要 例】

授業科目名		期	単位	講義概要
教養科目系	教育学概論	前期	2	教育の歴史や様々な思想、その実践例から教育の哲学、制度、教育の目的と使命の概要を理解する。特に19世紀以降の公教育制度の構築と展開に焦点をあてて、近代社会における「教育」の意味を考える。
	生涯学習概論	前期	2	生涯学習は、学校教育や社会教育等の組織的教育をはじめスポーツ、文化活動、ボランティア活動など幅広い活動を含む。生涯活動の歴史や基本理念を理解し、社会変化に伴う学びの環境も変化している中で生涯教育の意味を考える。
	法学入門	前期	2	法体系の仕組み、日本国憲法の概要解釈や基本的人権規定に関する論点を、時事関連問題を参考に問題点と今後の課題に対する認識を深める。また、医療技術者に必要な保健衛生関連法規の理解と把握、並びに職務遂行に伴う法的責任について理解を深める。
	文章力を磨く	後期	2	伝えたいことが読み手に伝わる文章を書くための方法を学ぶ。授業では小論文、レポートを中心に論理的な構造を踏まえた文章を書けるように、演習を行い文章力を磨く。
	植物学概論	後期	2	植物観察をもとにして分類学と形態学を学ぶ。分類学は観察により種類の差を区別する。形態学では植物の多様な外部形態、内部構造が、それぞれに固有な機能を持つことを理解し、植物の進化と環境への適応の観点から考える。発生学は個体発生にともなう構造的変化を観察し、遺伝子の複製と発現現象を学ぶ。また、食品、染料あるいは医薬品としての植物についても学ぶ。
	哺乳類の進化概論	後期	2	原生動物から脊索動物までについて神経系の出現・変化を学び、ついで脊椎動物の進化で哺乳類に至る脳の発達を学ぶ。本論では哺乳類の系統樹に触れながら人類への最後の枝分れ地点、直立、発声のハプニングまでを講義する。対して学生には異なった見方とその根拠を文献検索を交えて討論してもらう。
基礎科目系	臨床体表解剖学	前期	1	教育の歴史、教育に関わる様々な思想、それらの実践例をとおして、教育の哲学、制度、教育の目的と使命についてその概要を理解する。特に19世紀以降の公教育制度の構築と展開を中心に近代社会における「教育」の意味を考える。
	病態運動・生理学	前期	1	人間の身体運動・動作を科学的にとらえるため、神経と骨格筋の情報伝達における病態生理学を学ぶ。
	臨床発達障害学	前期	1	正常運動発達を中心に乳幼児の正常発達の理解を深める。また、正常発達過程から発達障害児の運動障害・生活障害を検討する。さらには年齢を経るに従い日常生活活動（ADL）を狭小化させる二次障害についても学ぶ。
運動機能障害系	運動器系障害 リハビリテーション論	後期	1	理学療法・作業療法と関連する運動障害に伴う症状とその原因、および関連研究を学ぶ。
	内部疾患系障害 リハビリテーション論	後期	1	呼吸器疾患、循環器疾患の発生要因や病態、治療内容を把握し急性期や回復期および維持期における障害像から、治療的ならびに予防的な理学療法の介入方を学ぶ。
	スポーツ障害 リハビリテーション論	後期	1	スポーツ外傷や障害の基本的知識を学び、文献抄読などを通して最新のスポーツ障害に対するリハビリテーション知識を身につける。基本的に前半は講義、後半は課題として文献抄読し、フィールドワーク課題を実施する。
生活機能障害系	中枢神経系障害 リハビリテーション論	後期	1	中枢神経疾患の病態、障害像、機能回復に関わるメカニズムを学習する。運動障害、認知機能障害に関する生活活動における問題点の分析と、より効率的な理学療法・作業療法を学習する。
	地域・老年期 リハビリテーション論	後期	1	地域リハビリテーションという幅広い概念の中で、特に高齢者を対象としてその身体・精神面での特性を知り、包括的なリハビリテーション支援を必要とする人々への援助方法などを学習する。
	精神機能系障害 リハビリテーション論	後期	1	精神科分野におけるリハビリテーションの意味を理解するために、これまでの精神科作業療法の理論を歴史に沿って説明する。また、臨床でいかにその理論を応用するのか事例を通して理解する。本講義の対象となる理論は、作業療法の理念、発達モデル、人間作業モデル、精神力動モデル、認知能力障害モデルである。

	生活環境 リハビリテーション論	後期	1	リハビリテーションにおける生活環境への適応の行動理論を学ぶ。人間と環境をつなぐ交流理論の歴史、理学療法や作業療法で用いることのできる理論や概念、生態心理学での考え方などを比較検討しながら、臨床における生活環境、家族・社会集団環境、居住環境などの調整に応用できるようにする。
リハビリテーション管理	応用臨床心理学	前期	1	病気や障害、またはライフサイクルにおける様々な経験によって起きる心理的問題に対する、臨床心理的援助の実際について学ぶ。
	医療福祉行政学	前期	1	少子高齢社会の日本で目まぐるしく変化する医療行政、社会福祉行政に関して、その歴史、各国の制度を研究し、理学療法士・作業療法士に必要な日本の医療福祉行政のあり方について考える。
	医療情報学	前期	1	リハビリテーション科学に関する問題解決を支援する情報のあり方を追求する。情報を「つくる・伝える・使う」の視点で捉え、より望ましい環境の整備を推進する研究と実践に取り組む。その対象は医療者だけでなく、患者・介護者・支援者などの医療関係者全般を含む。また、個人から社会レベルの意思決定の支援を想定している。
リハビリテーション科学研究	研究法演習	前期		研究とは何かを理解することを目的に文献の抄読を行う。文献の検索、抄読、討論の過程で現在までに何が分かっているか、何を明らかにするかを明確にし、研究方法、過程、研究に関わる諸問題について学習する。
	リハビリテーション科学研究Ⅰ	前期	5	各教員個別の指導により、研究目的や問題のたて方、研究の計画と実施の方法、論文の作成と発表のしかた、研究倫理について学び、研究の基礎的方法論を修得する
	リハビリテーション科学研究Ⅱ	後期	5	各教員個別の指導により、研究目的や問題のたて方、研究の計画と実施の方法、論文の作成と発表のしかた、研究倫理について学び、研究の基礎的方法論を修得する